

I 介護予防とリハビリテーションの充実

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察
活動 指標	1	地域おたっしやサークル 実施箇所数	65	73	80		<p>目標値には達していないがサークルの個所数は、増加している。特に回数や内容の基準緩和があるサロン型（閉じこもり予防）が増加している。今後は、さらに住民主体による立ち上げ支援や継続支援を介護保険サービス事業所との協働体制により強化していく。</p> <p>回収数の増加に伴い、生活アドバイス票の発行数が目標値を大幅に上回っている。それに合わせ、各予防教室等の参加数も増加している。点数の高得点者には、継続した個別訪問を行い、早めの出会いから切れ目ない関係づくりを行っていく。</p> <p>介護予防、認知症予防、自立支援等の取り組み等の普及の機会として、「かもまる講座（市職員出前講座）」を実施。参加人数は延べ488人であった。開催数は目標値に達しなかったが、参加人数が増加傾向である。今後も様々な機会を活用し普及啓発を行なっていく。</p> <p>参加人数が増えるように周知します。</p> <p>参加勧奨の効果もあり、4コースすべて、定員に達した。参加者より「膝の痛みが楽になった」「歩くのが速くなった」等身体的な面や「他の教室に参加するようになった」「運動するようになった」など生活面でも効果がある声が聞かれている。今後は、地域で講座で学んだ知識や技術を活かそう修了生と検討し取り組んでいく。</p> <p>当初は平成27年4月を目指し、平成26年度は検討会4回、試行事業を実施してきた。第6期(平成27年度～)の制度改正を見据え、市民、事業者の混乱を最小限にするため平成28年4月に総合事業の導入を変更することとした。</p> <p>前年度に引き続き、各種連絡会の委員と課題を整理し、共通の課題については合同で研修会を開催できた。研修会は多く開催すれば良いものではないため、今後は、事業所で核となる人材育成を考え、より効果的な研修体制に変更していく。</p>
			H24実績	H25実績	H26実績		
			62	63	67		
	2	生活アドバイス票発行数	H24目標	H25目標	H26目標		
			5,800	6,300	6,800		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			9,437	10,028	10,975		
	3	高齢者学級開催数	H24目標	H25目標	H26目標		
			27	27	27		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			12	11	15		
	4	古い支度講座開催数 (コース数)	H24目標	H25目標	H26目標		
			3	3	3		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			2	4	4		
	5	介護予防・日常生活支援 総合利用者数	H24目標	H25目標	H26目標		
			135	135	135		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			—	—	—		
	6	介護サービス事業所研修 会の開催数	H24目標	H25目標	H26目標		
			40	40	40		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			25	22	22		

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察	
成果指標	7	おたっしやサークル参加者率 (参加者数/要介護認定者を除く高齢者数)	9.5%	10.0%	10.5%	元気高齢者を増やします。 (*認定率に関しては、推計値を超えないようにします。)	参加者実人数は1,724人(H25:1,703人)参加者率は、10%している。サークルの設置が高齢者の居場所や予防活動の拠点となるため、今後も地域に定着したおたっしやサークルになるよう地域住民へ働きかけていく。	
			H24実績	H25実績	H26実績			
			10.4%	9.9%	10.0%			
	8	第1号被保険者(65歳以上)の要支援・要介護認定率 (推計値)	H24目標	H25目標	H26目標			平成26年度の第1号被保険者の認定者数は3,814人で、昨年度比0.5%増加している。高齢者における認定者数割合(認定率)においては昨年度比0.4%減の17.4%に推移している。介護度別では軽度認定者(要支援1及び2、要介護1)が1,807人と全体の5割近くを占めている。また、中度(要介護2~3)の認定者数はやや増加したが、重度(要介護4~5)の認定者はやや減少した。認定者の増加は、高齢者の増加や社会的要因が大きく影響するが、高齢者への適切なサービス提供や介護予防活動の推進を図っているため、認定者増加、重度化の抑制となった。
			18.6%	19.0%	19.2%			
			H24実績	H25実績	H26実績			
	17.5%	17.8%	17.4%					
	9	介護サービス事業所研修会・連絡会の参加率 (参加者事業所/市内全サービス事業所)	H24目標	H25目標	H26目標	サービスの質を高めます。	各種連絡会等の参加率は、年々低下している。全事業所へ研修に参加する機会を提供するために案内した結果、参加率が低下したと思われる。しかし昨年同様、今までに参加できていなかった職員が参加されたり、障がい関係の事業所にも研修会案内したことで、参加者の変化がみられている。研修会内での意見交換でも、様々な意見を聞く機会になっている。	
			100.0%	100.0%	100.0%			
			H24実績	H25実績	H26実績			
	62.26%	38.37%	33.62%					

## 1. 介護予防とリハビリテーション

### 【成果】

#### 1. 介護予防基本チェックリストの回収数及び生活アドバイス票の発行数の増加(資料No. 2)

⇒はがきや広報ががによる回収勧奨に努め、回収率が向上した。回答者に送付する生活アドバイス票には、状態像に基づき、様々な介護予防の情報を掲載し、情報発信ができた。生活機能低下者の早期発見にもつながっている。

#### 2. おたっしやサークル数の増加、参加率の増加(資料No. 1・7)

⇒介護保険事業所の技術的協力により、目標値には達成していないが継続困難なサークルへの支援や各福祉活動団体への周知等によりサークル数が増加した。

### 【課題】

#### 1. 生活機能低下者へのアプローチの徹底

⇒介護予防基本チェックリストから把握した生活機能低下者に対して、文書による情報提供だけでなく個別訪問も実施し、早期対応に努めているが、継続した訪問支援が出来ていない。今後はランチ及び地域福祉コーディネーターの設置より早期対応を進めていく。

#### 2. ケアマネジメントの質の向上(No. 6.9)

⇒各種連絡会等の参加率は、昨年度と比べ低下している。多くの事業所から参加してもらいたく、全事業所へ案内した結果参加率が低下したと思われる。介護サービス事業所従事者のケアの向上が本人の生活の質へつながっていくことから、平成27年度より各事業所の中心的存在でもある中堅職員の人材育成を目的とし、研修体系を変更する。

## II. 認知症対策の推進

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察
活動 指標	10	認知症サポ-ター養成講座開催数	30	30	30	認知症について学ぶ機会を増やします。	開催数は、年々増加しているが、目標値までには達成しなかった。生活圏域毎に、キャラバン・メイトが地域の実情の合わせて、工夫し企画し実施してきている。今後も、地域の実情に合わせた開催を継続する。
			H24実績	H25実績	H26実績		
			11	13	20		
	11	介護なんでも110番設置箇所数	H24目標	H25目標	H26目標	早期に相談できる場所を増やします。	平成20年度より身近で、気軽に相談できる場として、介護なんでも110番の設置を行ってきた。平成20年度設置開始時には、11箇所だったものが、平成26年度は3年に一度の体制の見直しを行い、33箇所に設置箇所数が増え、目標達成した。
			28	29	31		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			30	30	33		
	12	認知症疾患医療連携協議会の開催数	H24目標	H25目標	H26目標	各関係機関と情報共有等を図る機会を増やします。	平成22年10月より、南加賀認知症疾患医療センター（加賀こころの病院内）が石川県委託により設置となった。設置に伴い、連携協議会が開催され、認知症の支援における医療と介護の連携に関する課題等共有する場となっているが、平成26年度は、開催されなかった。ただ、介護と医療の連携事業にて、研修会や意見交換会など通して、多職種での顔の見える関係づくりや課題整理の場は開催できた。
			1	1	1		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			1	1	0		

## II. 認知症対策の推進

### 【成果①】

#### 1. 介護なんでも110番設置箇所数の拡充（資料No. 11、15）

⇒平成20年度より身近で気軽に相談できる場として設置し、11箇所から33箇所へ約3倍に増加。相談件数は増加し93件となっている。早めの相談支援を目的に平成25年度より地域おたっしやサークルへ介護なんでも110番の職員が出前相談を行っている。相談件数としては平成25年度は1件であったが、平成26年度は16件と増加している。地域と顔が見え、相談しやすい関係づくりのために、出前相談を継続する。

#### 2. 認知症サポ-ター養成数の増加。（資料No. 10、13）

⇒平成24年度は287人、平成25年度は350人、平成26年度は514人で累計3,250人と目標は達成し、講座受講者数が増加。キャラバン・メイトが地域の実情に合わせて、話し合い、目標値を定め企画し実施している。これからも継続し、実施していく。

#### 3. 認知症の予防体制の構築（資料2-2②）

⇒相談実績から早期発見・早期診断、啓発普及、早期対応の必要性のもと、平成25年度に、医師会と検討を重ね、もの忘れ健診を実施。早期受診のきっかけや認知症がすすでいる方では、家族が受診を誘いやすくなるきっかけにもなっている。また、多職種にて、かかりつけ医等対応力向上研修会を実施。

### 【課題】

#### 1. お出かけ支援ネットワークの取り組みが少ない。（資料NO. 14）

⇒市内でも、実際に帰宅出来ない事例が数件あった。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一環として「お出かけ支援ネットワークの声かけ模擬訓練」の開催は平成26年度は実施できなかった。

また、行方不明の際の捜索ネットワーク体制の構築にむけた取り組みは、警察、加賀市介護サービス事業者協議会、庁内他課との連絡会を実施し、体制構築に向けて検討している。平成27年度は市ホームページに安心メールの仕組みを立ち上げ、支援や関心の目を増やしていく。

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察	
成果 指標	13	認知症サポ-タ-養成人数(累計人数)	H24目標	2,000	2,200	2,400	認知症を正しく理解する住民を増やします。	平成24年度は287人、平成25年度は350人、平成26年度は514名と認知症サポ-タ-養成講座受講者数が増加している。今後、認知症サポ-タ-を養成するだけでなく、より認知症を理解し、地域での支え手になることを目指し、認知症サポ-タ-とキャラバン・メイトと一緒に活動していくを目指す。また、市内小中学生を対象にした「高齢者ふれあい講座」をとおした啓発も継続していく。
			H24実績	2,277 (H24.12)	2,718 (H26.3)	3,250 (H27.3.)		
			H25実績					
	14	おでかけ支援ネットワーク実施箇所数(累計数)	H24目標	1	2	3	認知症の人を支える地域づくりを行います。	平成24年度、25年度と片山津温泉5区の防災訓練と合わせ、認知症の人が行方不明になった時に、どのように声をかければよいか、声かけ訓練として実施してきた。防災訓練にあわせての実施は限界があるため、今後は、安心メール事業、個別地域ケア会議を通しての開催が地域の実情にあった開催ができると思われる。
			H24実績	1	1	0		
			H25実績					
	15	介護なんでも110番相談件数	H24目標	120	140	160	早期相談支援件数を増やします。	認知症や介護に関する相談が身近な地域で気軽にできるように介護なんでも110番を設置している。平成25年度から地域おたっしやサークルへ介護110番の職員が出前相談をおこない、地域からの相談を待つだけでなく、積極的な相談体制の構築を図っている。平成25年度は1件、平成26年度は16件数であった。今後も地域と顔の見える関係づくりを通して、相談しやすい体制を目指す。
			H24実績	80	112	93		
			H25実績					
	16	認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式活用研修事例提供件数	H24目標	30	30	30	認知症ケアの実践が出来る職員を増やします。	平成16年度より、本研修を積み重ねてきたことで、本人本位の視点の重要性については、職員に共通理解できつつある。しかし、研修のみに終わってしまい、実践として継続していくことが難しい現状がある。そのため今後、高齢者の暮らしを支えていく人材育成として、年間通しての研修体系とし、事業所でのOJTができる人材を育成する体系に変更する。
			H24実績	21	24	26		
			H25実績					
	17	若年性認知症の人の他機関連携支援件数	H24目標	5	5	5	他機関連携支援件数を増やします。	65歳未満(2号被保険者)の相談件数は、42件。そのうち認知症の方の相談は3件。65歳未満では脳血管疾患が多く、次いで、がんの方が多い。他機関との連携は、地域活動支援センターとの連携であった。
			H24実績	4	4	2		
			H25実績					

Ⅲ. 地域包括ケア体制の構築

No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察	
活動 指標	18 小規模多機能型居宅介護 事業所新規整備数	1	2		在宅生活を支 える介護サー ビスを増やし ます。	平成25年度に公募を行った事業所 が、平成26年4月1日に2事業所開設 し目標を達成した。	
		H24実績	H25実績	H26実績			
		1	2	0			
	19 認知症対応型通所介護の 整備数 (共用 型)	H24目標	H25目標	H26目標			ケアマネジメント向上部会の構成員、 回数を見直し全体数は減少した。 平成27年度は医療と介護の連携会議と 趣旨、委員が重複したものは統合す る。今後は、認知症や介護予防をもと に住民主体の地域づくりを進めていく ことが重要であり、認知症部会は休止 し、地区単位の地域ケア会議を展開し ていく。
		4					
		H24実績	H25実績	H26実績			
	0	3	0				
	20 包括ケア会議開催数	H24目標	H25目標	H26目標	包括ケア体制 を継続して検 討します。	ケアマネジメント向上部会の構成員、 回数を見直し全体数は減少した。 平成27年度は医療と介護の連携会議と 趣旨、委員が重複したものは統合す る。今後は、認知症や介護予防をもと に住民主体の地域づくりを進めていく ことが重要であり、認知症部会は休止 し、地区単位の地域ケア会議を展開し ていく。	
		23	23	23			
		H24実績	H25実績	H26実績			
		24	28	19			
	21 家族介護セミナー実施回 数	H24目標	H25目標	H26目標			家族介護者へ き情報提供で きる機会を増 やします。
3		3	3				
H24実績		H25実績	H26実績				
1		26	26				

Ⅲ. 地域包括ケア体制の構築

【成果】

**1.在宅介護の限界点を高める(資料NO. 18、19、23)**

⇒地域密着型サービスは計画的に整備されており、サービスを利用して地域で暮らす人の割合は減少せずに維持、増加している。

**2.家族介護セミナーの開催数の増加(資料NO. 21)**

⇒地域密着型サービス事業者(運営推進会議開催事業所)に委託し講座を展開したことにより、目標達成している。さらに介護者の座談会等内容が充実してきている。今後も地域の身近な場で在宅介護の情報提供や意見交換会等充実していく。

**3.加賀市版地域包括ケアビジョンの策定**

⇒庁内横断ワーキングを設置し、地域ケア会議の声を分析し、地区診断を行った。それを踏まえ外部の有識者による検討委員会でも意見をもらいながらビジョンの策定及び各課の事業をより効果的・効率的に推進できたり、さらには地域づくりにつながるような協働事業案も検討できた。

【課題】

地域包括ケア体制の構築に向けて、各地域での地域ケア会議を1回は開催できたが、地域づくりを考えていくような専門職や関係団体、地域住民等と共に議論し具体的な取り組みや方向性(地域づくり)を出すような継続した会議等の開催が出来なかった。また、相談件数の増加に伴い継続した訪問支援や介護サービスだけでなく地域包括ケア体制の構築につながるような地域の人材発掘や資源につなげるようなコーディネートが十分に出来ていない。

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察	
成果 指標	22	地域包括支援センター総合相談件数	H24目標	3,400	3,600	3,800	切れ目のない相談支援件数を増やします。	初期相談の延件数は6,519件、二次予防事業対象者（認知項目8問にすべて該当する者も含む）の支援相談件数は、2,516件であり、合計9,035件（H24：8,226件） 初期相談の実件数は平成25年度は1,207人平成26年度は1,515件であり、増加傾向である。相談者からは、知人に相談したら地域包括支援センターを紹介されて連絡したというケースもあり、地域包括支援センターの周知も少しずつではあるが、広がっているのではないかと思われる。
			H24実績	5,668 前年度比 118.4	5,629 前年度比 99.3%	6,519 前年度比 115.8		
			H25実績					
	23	サービスを利用して地域で暮らす人の割合 <small>居室及び地域密着型サービス利用者数 要介護認定者数</small>	H24目標	63.0%	64.0%	65.0%	要介護状態になっても地域で暮らす人を増やします。	住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう地域密着型サービス（小規模多機能型居宅介護事業所）の整備を進めている。引き続き居宅サービスの利用割合を高めるとともに地域密着型サービスの質を高め、地域で暮らせる人を増やす。
			H24実績	64.4%	64.4%	66.4%		
			H25実績					
	24	見守りネットワーク形成済み数	H24目標	1000	1100	1200	セーフティネットの取り組みを充実していきます。	平成25年度より見直しを行い、市の「見守り支えあい制度」と民生委員・社会福祉協議会が行う「見守りネットワーク」を統合して、「地域見守り支えあいネットワーク」に改めた。日頃の見守りや災害時の支援が必要な人を把握し、（新）安心カードへの登録を進めている。平成26年度の統合した制度での実績：65歳以上の（新）安心カード登録者数 2911人（No.35と同じ）
			H24実績	889	978	—		
			H25実績					
	25	生活支援サポーター養成 人数 (実人数)	H24目標	25	25	25	地域で活動する担い手を増やします。	平成24年度より、圏域の課題や実情に合わせて活動していくため、養成講座を圏域で実施。自分たちの圏域をより良くしようと思う参加者の意識も見られ、地域のサロンづくりへの機運が高まった。今後は、かがやき予防塾として生活支援サポーター養成を兼ねた講座を展開していく。
			H24実績	28	25	28		
			H25実績					

IV. 権利擁護の推進

	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察				
活動 指標	26 虐待防止・権利擁護・悪徳商法に関する研修会の開催数（住民向け）	40	40	40	高齢者虐待防止・権利擁護を理解する機会を増やします。	権利擁護の研修は、こころまちフォーラムとかもまる講座で計3回実施、悪徳商法については、消費啓発の出前講座で50件実施した。また、かが成年後見センターは8カ所のサロン等を対象に研修会を実施した。 今後あらゆる機会を通じて、権利擁護についての関心を高めてもらうとともに、自分自身の権利を守ることを考える機会となるような講座を、社会福祉協議会（かが成年後見センター）及び地域福祉課（消費者相談）と連携し、実施していく。				
		H24実績	H25実績	H26実績						
		32	58	61						
		H24目標	H25目標	H26目標						
	27 虐待防止・権利擁護に関する研修会の開催数（関係機関）	8	8	8			権利擁護について理解できる人を増やします。	居宅サービス事業所従事者向けに作成した「虐待防止の手引き」を活用し視点編、実践編と対象者を分けて実施した。研修後のアンケートからは、日々のケアに対する振り返りや気付き、虐待についての考える機会になったとの意見があった。また、事業所内で研修したい等、今後も継続して意識することの重要性を示す回答もあった。 平成25年度より障がい支援の事業者や医療機関へも案内し、一緒に考える機会として企画している。さらに、住民、事業所従事者合同研修会として講演会を実施した。今後も、権利擁護に関して高齢者だけでなく、様々な関係機関、住民も一緒に考える場として研修を行っていく。		
		H24実績	H25実績	H26実績						
		2	4	4						
		H24目標	H25目標	H26目標						
	28 市民後見人養成人数	4	8	12					権利擁護について理解できる人を増やします。	平成25年度より加賀市社会福祉協議会に加賀成年後見センターが設置されている。 新たに市民後見人の養成は実施していないが、平成24年度に養成した市民後見人のフォローアップ研修を、人との関りや、権利擁護の視点についての理解を中心に実施している。
		H24目標	H25目標	H26目標						
		18	0	0						
		H24目標	H25目標	H26目標						

IV. 権利擁護の推進

【成果】

**1.権利擁護に関する研修会開催の増加(資料NO. 26、27、28)**

⇒地域包括支援センターだけでなく、消費者相談や「かが成年後見センター(ほっこり)」が研修を実施し、開催数が増加している。今後も、互いの関係機関が連携し、早期発見・早期相談の必要性、高齢者のみならず自身の権利を守ることへの大切さについて研修会を実施していく。

**2.高齢者虐待事例支援への対応(資料NO. 30)**

⇒地域包括支援センター内での定例会の開催と別に、虐待ケース検討会を週に1回追加で実施した。ケースの状況によっては緊急開催し、早期に対応できる仕組みを構築している。

【課題】

**1. 高齢者虐待事例支援件数の減少(資料NO. 29、30)**

⇒相談件数は昨年度より増加しているが、相談時に虐待が深刻化している状況も多い。また、どこにも相談しておらず養護者だけが負担を抱えている現状もある。介護保険サービスの利用なども含め、早めに相談できるよう相談窓口の周知、虐待のおそれの段階での連絡・相談体制を構築し、未然に防ぐ取り組みが重要である。

**2. 関係機関との連携体制構築の推進(資料NO.30)**

⇒殆どのケースが、世帯としての問題を抱えており、地域包括支援センターのみでは虐待解決がしきれない状況もある。ケースに関わる関係機関(介護保険事業所や警察、関連各課(地域福祉課・障がい支援課・子ども課、健康課等))との情報共有や支援方針について、検討する場が必要である。

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察
成果 指標	29	地域包括支援センターによる高齢者虐待事例支援件数 * ( ) は新規把握件数	40	45	50	窓口を周知し 早期対応しま す。	ケース概要では、深刻化した状態での通報や虐待のおそれの段階での連絡がある。また、事業所によって相談時期にばらつきがあるため、引き続き、介護保険事業所のみならず、地域住民への啓発普及を実施し、虐待の早期発見・早期対応ができる体制を構築していく。
			H24実績	H25実績	H26実績		
			62 (50)	48 (36)	49 (44)		
	30	支援事例のうち虐待ケース検討会開催割合	H24目標	H25目標	H26目標	専門チームによる支援を行います。	地域包括支援センターでは、困難事例を検討する定例会を週1回実施、虐待ケース検討会も週に1回の体制でケース検討会を行っている。更に、緊急時には臨時にケース検討会を開催している。必要時、担当ケアマネジャーや関わっている介護保険事業所、社会福祉協議会、警察、関連各課（地域福祉課・障がい支援課・子ども課、健康課等）と情報共有し支援方針についての確認を行ってきた。ほとんどのケースが、世帯としての問題を抱えている場合が多く、地域包括支援センターのみで、虐待の解決しきれない現状がある。
			100.0%	100.0%	100.0%		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			100.0%	100.0%	100.00%		
	31	成年後見制度の市長による申し立て件数	H24目標	H25目標	H26目標	公的な支援制度を活用します	介護者が存在する後見申立の判断には相談後の介護者支援による状況変化等の見極めを要する場合があり、慎重に利用支援を判断している。平成25年度より、加賀市社会福祉協議会が設置する成年後見センターとも連携し、権利擁護体制の充実を図っている。平成26年度においては、申し立てに至った件数は3件に留まったが、相談件数は16件であった。
			6	8	10		
			H24実績	H25実績	H26実績		
			7	5	3		
	32	市民後見人登録人数	H24目標	H25目標	H26目標	高齢者の権利を支える人を増やします。	平成25年度から加賀市社会福祉協議会が運営する成年後見センター「ほっこり」が設置された。同センターは法人後見として、今後増加する後見人に関するニーズに対応していく。
4			8	12			
H24実績			H25実績	H26実績			
0			0	0			



V. 地域生活を支える環境整備

	No	評価項目	H24目標	H25目標	H26目標	考え方	考察
活動指標	33	福祉避難所として利用可能な人数	2,100	2,200	2,300	緊急時対応施設を増やします。	加賀市見守り支えあい制度登録者全てをカバーできるよう引き続き介護・障害者施設等の新規設置者に対し福祉避難所の開設を働きかける。
			H24実績	H25実績	H26実績		
	2,575	2,575	2,645				
	H24実績	H25実績	H26実績				
活動指標	34	福祉避難所として利用可能な施設数	H24目標	H25目標	H26目標	加賀市見守り支えあい計画の中で、介護・障害者施設等と福祉避難所の開設に関する協定を締結している。 (24法人、63施設) 福祉避難所の開設運営マニュアルについては各施設に配布済である。	
			57	58	60		
	H24実績	H25実績	H26実績				
	61	61	63				
成果指標	35	災害時要援護者支援個別プラン作成数 (在宅の75歳以上かつ要介護3以上等) ※平成26年度から「個別プラン作成数」から「(新)安心カード作成数」に変更	H24目標	H25目標	H26目標	セーフティネットの取り組みを充実(整備)していきます。 お出かけ応援車両については、5事業者11ルート(※市による東谷地区スクールバスへの混乗含む)で運用していたが、平成27年1月以降、1事業者1ルート減少した。(小計10ルート) 乗り合いタクシーについては、橋立地区および東谷口・勅使地区の2地区で運用している。(小計2ルート) バス路線については4路線で運行している。	
			800	1,600	2,300		
	H24実績	H25実績	H26実績				
	642	663	2,911				
成果指標	36	お出かけ応援車両ルート、乗り合いタクシー等整備数 (バス路線含まず)	H24目標	H25目標	H26目標	セーフティネットの取り組みを充実(整備)していきます。 お出かけ応援車両については、5事業者11ルート(※市による東谷地区スクールバスへの混乗含む)で運用していたが、平成27年1月以降、1事業者1ルート減少した。(小計10ルート) 乗り合いタクシーについては、橋立地区および東谷口・勅使地区の2地区で運用している。(小計2ルート) バス路線については4路線で運行している。	
			17				
	H24実績	H25実績	H26実績				
	16	12	12				

V. 地域生活を支える環境整備

【成果】

**1. 災害時要援護者支援個別プラン作成数の増加(資料NO. 35)**

⇒平成25年度663件から平成26年度2,911件と、大幅に増加した。

これは、平成26年度から、収集方法を改めたことによる効果と考えられる。従来の区長を介した方法から、民営委員の聴察は、市の「個別プラン」と民生委員の「安心カード」を統一した(新)「安心カード」により、日常から災害時までの個別支援情報を収集していく。

【課題】

**1. 交通手段の確保(資料No.36)**

⇒ルート数は減少したが新病院建設に伴う交通網の整備から、「幹線ネットワーク」の維持・充実、「乗合タクシー」市内全域導入を検討。その他「キャンバス」「お出かけ応援車両」の活用、地域コミュニティ単位での「ボランティア輸送」の研究等取り組んでいく。

**2. 各種福祉サービスの充実(資料No.36)**

⇒在宅生活を継続していくための生活支援サービス(買い物、掃除、ちょっとした困りごと)を現在、「介護予防・日常生活総合支援事業」で検討中である。